



TASP研修会

(保育・指導要録のための発達評価シート)

～幼児期の適応行動の把握と個別支援計画への方向付け～

【TASPとは？】

TASP(タсп:Transitional Assessment Sheet for Preschoolers)は、保育園・幼稚園・認定こども園の「要録」作成の際に、客観的な基準で子どもの発達を評価できるシートです。

【客観的な発達の評価とは？】

TASPは、開発にあたって、就学前に見られた子どもの発達の特徴と、就学後の不適応行動の関連について、10年に渡って4,000名以上の子どもたちを保育園から中学校まで追跡調査をしました。こうした大規模な調査によって、一般的な子どもの特徴と比べて、発達障害特性を把握し、その後の学童期以降のリスクを、大規模データを基に予測することが可能です。

従来の保育士・幼稚園教諭の文章による記述と併せることで、より客観的に子どもの発達を評価することができるツールです。

【今回の研修会で学ぶことは？】

TASPを活用して、どのように子どもの状態像を把握していくのか、演習を行いながら進めていきます。TASPは簡単に実施でき、支援の方向性を考えることができます。(個別支援計画への方向付け)

社会性やコミュニケーションの発達支援につながるアセスメントや、どのように実際の保育・指導に活用していくか、どのように子どもとの遊びの様子と組み合わせていくとよいのかを学びます。

【日時】 令和7年7月6日(日)10:00～16:00

※9:30～受付開始

【会場】 アピオあおもり 大研修室2 (青森市中央3丁目17-1)

【対象】 青森県内の保育士、幼稚園教諭

児童発達支援センター及び児童発達支援事業所職員、障害児相談支援

【定員】 50名

※定員になり次第、受付を終了いたします。ご了承ください。

※定員を超えた際には、お断りする場合があります。その際は、こちらからご連絡いたします。

【講師】 中京大学 現代社会学部 コミュニティ学専攻 教授 辻井正次氏 (NPO法人アスペ・エルデの会)

中京大学 心理学部 臨床心理学領域 准教授 浜田恵氏(NPO法人アスペ・エルデの会)

青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科 准教授 田中尚樹氏(NPO法人アスペ・エルデの会)

【受講料】無料

【申込締切】令和7年6月27日(金)

【お申込み方法】

☆下記よりお申込みください☆



<https://forms.gle/fTiYmYe6rufyEUbY6>

【主催】青森県・青森県発達障がい者支援センター「ステップ」【協力】NPO法人アスペ・エルデの会

【問合せ先】青森県発達障がい者支援センター「ステップ」 Tel ☎:017-777-8201